

③ 第3委員会

「名古屋の歴史をつなぐまちづくり」



これから第3委員会の発表を始めます。

わたしたち第3委員会では、「名古屋の歴史をつなぐまちづくり」について考えました。

そのために、^{じっちちようさ}実地調査として7月20日に^{みはらしだいこうこしりょうかん}見晴台考古資料館を見学しました。そこでは、昔の土器などを^{はくつ}発掘し、その^{ぎじゅつ}技術を調べていました。その^{ぎじゅつ}技術は、今にも伝えられていることを学びました。

名古屋市^{ぎじゅつ}じゅうのみなさんに昔の人の^{ぎじゅつ}技術のすばらしさを伝え、歴史あるまちを守りたいです。

見晴台^{しりょうかん}考古資料館の^{しせつ}施設見学をした後、わたしたちは「名古屋の歴史をつなぐまちづくり」について委員会のみんなで考えました。それでは、わたしたちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員 わたしは、歴史のことを多くのみなさんに知ってもらい、昔のことを生かしたすばらしいまちにしたいと思いました。

歴史のことを多くのみなさんに知ってもらうには、歴史のことが豊富ほうふに集まった子どもから大人までわかりやすい資料館しりょうかんをふやせたらいいと思います。ほかに、実際じっさいに自分たちで発掘はくつの体験や昔と同じつくり方で土器をつくるなどの楽しく学べる施設しせつ、資料館しりょうかんがふえたらいいと思います。歴史のことが集まったテーマパークみたいなのができたら、小さい子も楽しく遊びながら学べれば、歴史が得意になったり、歴史が好きな子がふえて、名古屋の歴史をつなぐまちづくりに生かせると 생각합니다。

○子ども議員 ぼくは、縄文じょうもんから弥生やよい時代の土器とか遺跡いせきがさわれたり、見れたり、土器をつくる体験ができる施設しせつをつくりたいです。そうすれば、歴史が大好きになって、5年生以下の人は6年生の社会の勉強に役立っていいからです。

あと、縄文じょうもん時代から弥生やよい時代は、中学生の人から大人の人まで、土器や昔の人がどうやって土器をつくったとか、小学生の勉強よりくわしいことがいっぱいわかって、復習ふくしゅうになっていいと思います。

○子ども議員　楽しくいろいろなことが学べるように、歴史が楽しくわかるようにできる施設^{しせつ}をつくります。例えば、その中にはいろいろなものを展示^{てんじ}して、わかりやすくします。このようなことをすると、わたしたち子どもだけでなく、大人も楽しく学べ、もっと学びたい、その学んだことを友達に伝えたいといった気持ちにすることが出来ます。また、歴史のこと以外にも、歴史と同じようにもっと学びたい、友達に伝えたいといった気持ちになると、さらにいろいろな歴史がふえていくと思いました。

○子ども議員　ぼくたちは、見晴台考古資料館^{みはらしだいこうこしりょうかん}を見学しました。そこは、歴史のものを掘り出して展示^{てんじ}してあります。そこで、歴史を学べる施設^{しせつ}をふやし、見に来てくれた人たちに歴史のことをよく知ってもらい、その後、クイズなどのイベントをつくり、施設^{しせつ}で勉強したことを生かしてイベントに参加していただければ、楽しく学べるので、いつの間にか名古屋のことを好きになってくれていると思います。

○子ども議員 わたしは、もっと見晴台考古資料館みはらしだいこうこしりょうかんのような昔きちょうの貴重な歴史を多く展示てんじしている資料館しりょうかんをふやすといいと思います。なぜなら、このような資料館しりょうかんをふやせば、歴史に興味きょうみを持つ人がたくさんふえて、きっと全国から名古屋の歴史を知りたいという人もふえていくと思ったからです。

ほかにも、織田信長おだのぶながや豊臣秀吉とよとみひでよし、徳川家康とくがわいえやすなどの有名な人物を題材とした資料館しりょうかんをふやしたり、ツアーなどをふやしたりすると、もっといいと思います。それに歴史を題材とした漫画まんがをつくったりして、おもしろく楽しく学べるものをつくると、もっと歴史マニアや歴史に興味きょうみを持った大人や子どもたちがふえて、きっと名古屋に歴史をつなぐまちができると思います。

○子ども議員 ぼくたち第3委員会は、見晴台遺跡みはらしだいいせきに行ってきました。そこでは、昔の土器などを発掘はくくつしていました。名古屋は歴史があるので、もっとPRしたらいいと思います。なので、ぼくは、歴史館をつくって歴史を学べる場所をつくることと、家族でやる歴史クイズラリーなどのイベントかいさいを開催したらいいと思います。歴史館をつくると歴史が得意な子や好きな子がふえ、歴史クイズラリーをすると家族のきずなが深まり、歴史が得意でない子もゲーム感覚で参加できると思います。

なごや子ども市会で名古屋を日本の市町村の中で一番魅力みりょくのある市にできればいいなと思います。

○子ども議員　ぼくは、名古屋は歴史上でとても有名な武将、信長、秀吉、家康がいたところで、今もたくさんの城や遺跡が残っています。特に、遺跡は意外と知られていないので、イベントやポスター、ツアーなどの企画などでみんなに知ってほしいです。また、今は武将隊もいるので、そちらももっと生かしていけたらいいと思います。例えば、武将隊が1日だけ小学校で歴史の先生を務めたりしたらいいと思います。

そして、このような企画をすると、みんなが歴史に興味を持ち、みんなが名古屋に来て、経済的にも盛んになると思います。また、歴史に子どもたちが興味を持つと、名古屋の歴史のすばらしさを知ってもらえると思います。

○子ども議員　ぼくは、見晴台考古資料館を見学して、昔の生活がぼくが思っていたよりもずっと発達していることを知りました。だから、ほかの子たちにも、ぼくと同じように歴史を知ることによって新しい発見をしたり、歴史を守ろうと感じたりできるといいと思います。

名古屋には、ほかにも歴史を学べる場所がたくさんあります。だから、身近な歴史の場をもっとアピールする必要があると思います。今ある歴史を学べる場所を紹介する小冊子などをつくり、スタンプラリーを企画してはどうでしょうか。まず、そこへ行って、体験して感じたことが、きっと次の名古屋の発展につながっていくと思います。

○子ども議員 多くの人々に歴史の楽しさを伝えるためにポスターをつくったり、名古屋にはたくさん古墳^{こふん}が見つかった場所があるから、そこを観光とかで回ってもらい、名古屋の人々みんなとか名古屋の人ではない人々にも楽しい歴史を知ってもらえると思います。

ポスターの内容^{ないよう}は、名古屋には多くの古墳^{こふん}が見つまっているから、その古墳^{こふん}はどこの地域^{ちいき}が多いのかとか、徳川家康とかはどんなことをしたのかなどのことを入れたらいいと思います。多くの人々に歴史を知ってもらえるので、このようなポスターをつくりたいです。

○子ども議員 わたしは、名古屋マンガクイズラリー^{ていあん}を提案します。これは、名古屋の歴史を読んで、名古屋市じゅうの名所を回り、クイズラリーをしていくものです。漫画^{まんが}の中でいろいろな名所^{しょうかい}が紹介されていて、その名所へ行くとクイズがあり、そのクイズを解^といていくものです。全部のクイズが解^とけたら賞品がもらえます。

わたしが、この名古屋マンガクイズラリー^{ていあん}を提案した理由は、二つあります。一つ目は、外で運動するきっかけづくりです。運動不足な子たちも、少しでも運動するきっかけになるとと思います。二つ目は、歴史を楽しく勉強するきっかけづくりです。名古屋の歴史^{あま}を余りよく知らない子たちも、クイズラリーをすることによって、楽しく歴史を学ぶことができると思うからです。

○子ども議員 わたしは、織田信長が桶狭間の戦いで通った道を再現したいです。それを再現することによって、名古屋市みなさんに歴史を知っていただくことができます。ほかにも、戦争で使った大砲を小さい子どもでも遊べるようなおもちゃのようにつくってみたいと思います。遊びながら、これは戦争に使われた大砲を再現したものなんだよというように教えてあげれば、勉強になると思います。あと、子どもでも楽しめるようなショーを行ったり、アニメなどもつくって、楽しんでもらいたいです。

子どもが歴史を好きになると、学校でも役に立ちます。たくさんの人々に歴史を知ってもらって、楽しんでもらいたいです。

○子ども議員 名古屋の古い歴史を考えたり、体験したりできる場所があることで、名古屋の歴史を知ることができ、より名古屋が好きになれると思います。また、おもてなし武将隊も、名古屋にゆかりのある武将を伝えるためにはとてもいいことだと思います。わたしは、こんなすばらしい名古屋に誇りを持ちたいし、多くの人に同じ思いを持ってほしいです。

今回見学した見晴台考古資料館は、学校で習うことを実際に見ることができる施設です。それなのに知らない人がほとんどだと思います。市内の6年生が学校単位で見学できるよう市として考えてほしいです。施設の充実や保存の目的のため、有料にしても多くの人に見学してもらいたいです。今回の見学で、わたしはとても魅力的なところだと思いました。

○子ども議員 わたしは、名古屋を歴史をつなぐまちづくりにするためには、昔の人の生活や習慣しゅうかんを名古屋のまちにも取り入れたらいいと思います。昔の人は、電気も何もない中、快適かいてきでエコに暮くらしていました。昔の人の生活や習慣しゅうかんを取り入れれば、名古屋のまちにも昔の面影おもかげが残るし、エコにもつながるからです。

例えば、エアコンを使うのをなるべくひかえて、江戸時代えどに行っていた打ち水を町内会などでしてすずしくしたり、堀川ほりかわを利用して人や荷物を運んで車の使用量を減へらせばいいと思います。名古屋にこのような取り組みをどんどん広げて、少しでも名古屋が歴史の面影おもかげが残るまちに近づいていけたらいいと思います。

わたしたち第3委員会は、今言ったことが名古屋を歴史を未来につないでいくまちにするために必要なことだと考えました。

これで、第3委員会の発表を終わります。

■おがわ小川教育子ども委員長の答弁

議長のお許しゆるをいただきましたので、一つ意見を言わせていただきたいと思います。

第3委員会のみなさん、おつかれさまでした。みなさんの歴史に関するこういった視察しさつのお話をさせていただく前に、みなさんに二つお礼を言いたいと思います。



第3委員会のみなさんというか、ここにいらっしゃるみなさん、みんなそうだと思いますけど、知らない友達と会ったその日からすぐに打ち解けて、本当に仲よくなれるといったところを見せていただいて、本当に感激^{かんげき}しましたし、また第3委員会は、よく行き先を決めたり、いろんな意見を多数決で決めるときに、きれいに半分に割れることがたくさんありました。13人のメンバーですから、委員長さんの子ども委員長をぬいて12人、12人が決めていくときに、4対4対4とか、6対6とか、そういうことが何度かあった中にもかかわらず、それを決めていくときに、おたがいが話し合^{なっとく}って納得をして、それで決まったものに対しては、みんなが一緒^{いっしょ}の方向に向いていくという、おじさんたちの忘^{わす}れてしまったことをみなさんに教えていただいたこと、改めてお礼を言いたいと思います。

それで、見晴台考古資料館^{みはらしだいこうこしりょうかん}にみなさんと一緒^{いっしょ}に見学をしに行ったわけですが、我々^{われわれ}が思っている以上に、みなさんが歴史に関して本当に関心があるんだなと、日ごろから興味^{きょうみ}があるんだなということ教えていただきました。

そして、みなさんが最後に歴史を学んできた上で宣言^{せんげん}をされる中に、名古屋が歴史を未来につないでいくまちになってほしい、名古屋が歴史を未来につないでいくまちになってほしいと、みなさんがまとめたこの宣言^{せんげん}、これは、この議会にいるみなさんがこれから担^{にな}っていくことだということを改めてこれから感じながら、みなさんは地域^{ちいき}にもどったり学校にもどったときには、自分が学んできたことをぜひ周りのお友達や大人のみなさんに教えていただきたいというふうに思いました。

先日、我々^{われわれ}教育子ども委員会の委員のメンバーが、ある地域^{ちいき}のまちに見学に行ってきました。何を見学しに行ったかといいますと、子ども議会を昔からやっている、何十年も前からやっているまちを見学してきました。そのときに、そこでわかったこと、我々^{われわれ}議員がそこで学んだこと

は、その子ども議会は10年も前から続いていますけれど、何年も前、例えばきょういらっしゃるみなさんは、初代子ども市会の議員ですが、次の2代目、3代目、4代目のみなさんにもかかわっていく。そうしたことをその^{ちいき}地域の議会の中では行われていました。

ですから、みなさんは、ここで終わるのではなくて、これをきっかけとして次の子ども市会、また次の次の子ども市会にも、またみなさんがきょうこの場で学んできたことをぜひ教えていっていただきたいということをお願いしたいと思いますし、みなさんが学んだことを形にしたいと思ったら、10年後、15年後、20年後、この場所でみなさんが議員としてそれを形にしていいただくようにお願いをしたいということをわたしからのあいさつとさせていただきます。みなさん、ご苦労さまです。

